



なのみ通信

令和4年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 10月6日 第7号

子どもが創る学校

10月は、「読書月間」になっています。本を読む楽しさを感じてもらおうと図書委員会も頑張っています。委員会活動の様子です。



今までありがとうございました。～なのみ子ども見守り隊～

東小田小学校には、子ども達の安心・安全な登下校をサポートしてくださっている「なのみ子ども見守り隊」が組織されています。子どもたちが交通事故に遭わないようにと、朝早くから、校区のあちこちの交差点に立っていただいている地域ボランティアの方々です。黄色の旗を持って、子どもたちが安全に横断できるようにと、毎日見守っていただいています。朝の登校の際には、いつも「おはようございます」「いってらっしゃい」など、温かい言葉もかけていただいています。

その見守り隊の一人である下高場地区の久保山武士さんが、9月お亡くなりになりました。久保山さんは総合葬祭いすや「楓ホール」前の横断歩道に毎朝立っていただき、子ども達が安全に登校できるようにと、15年以上前から子どもたちの登校を見守っていただいた方です。実は、お亡くなりなる2週間ほど前に、久保山さんから電話をいただきました。

もう少しやれると思ったけど、30分も立つことができなくなりました。もう横断歩道に立つことができません。子どもたちには、右左をしっかり見て車が来ていないか確認し、安全に渡るようお伝えください。

私は、これまでの見守りに感謝の気持ちをお伝えしたとこでした。それから2週間後、訃報のご連絡を受け、驚きとともに、長年に渡って子ども達を見守っていただいた久保山さんへの感謝の気持ちと久保山さんの子ども達の安全を願う気持ちを強く感じました。

いつも私は、福島交差点に立っていますが、今週は楓ホールの方にいます。その横断報道には、下高場地区の地域の方が新たに立っていただいています。交通量の多いこの横断歩道において、子どもたちの命を守るために、地域の方が見守っていただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。このように、東小田小校区には、たくさんの地域の方が子どもたち、そして学校を支えていただいています。子ども達には、感謝の気持ちと自分の命を守ることの大切さを感じてほしいと願っています。



(引き続き見守りをいただいています。)

なのみ子ども見守り隊の皆様、そして保護者の皆様、子どもの登下校の見守りありがとうございます。

◇ おやじの会の皆様、ありがとうございました。



10月1日(土)、朝7時30分より、東小田小おやじの会の皆様の声掛けにより、短時間での愛校作業で十分にできなかった側溝の溝さらいをしていただきました。当日は多くの保護者・地域の方と職員で作業を行いました。

側溝がどこを通っているか分からないほどに積みあがった蓋の上の泥をはがし、側溝の蓋をあけてみると、たくさんの砂、泥が蓄積しています。大変な作業でしたが、みなさんの協力で取り除くことができました。保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。